

百万光年伝説アストラルイメージ！

設定資料集



琉球ももんが

サークル脳内天國

2019年3月31日

# もくじ

◆作品リスト	… 2
◆キャラクター設定集	… 3
◆星獣設定集	… 8
◆この企画について	… 12
◆作品解説のようなもの	… 13
◆キャスト・スタッフ・あとがき	… 16

## ◆『百万光年伝説アストラルイマージュ！ - The Ecliptic - 』 作品リスト

『ガールズヒーロー、はじめました』。

話数	題名	主な敵
第 1 話	アストラルアリエス	牡羊星獣スリープシープ
第 2 話	アストラルタウルス	牡牛星獣アルデバラン
第 3 話	アストラルジェミニ	双子星獣ジェミニシスターズ
第 4 話	アストラルキャンサー	蟹星獣アルタルス
第 5 話	アストラルレオ	獅子星獣レグルス
第 6 話	アストラルヴァルゴ	乙女星スピカ
第 7 話	アストラルリブラ	大天秤リブラ
第 8 話	アストラルスコルピイ	蠍星獣スコルピイ
第 9 話	アストラルサジタリウス	射手星獣カウス アストラルダーク
第 10 話	アストラルカプリコーン	山羊星獣アルケディ アストラルダーク
第 11 話	アストラルアクエリウス	水瓶星獣アクエリウス アストラルダーク
第 12 話	アストラルピスケス	魚星獣ピスケス アストラルダーク
第 13 話	アストラルヒーローズ対星獣軍団！（未制作）	蛇使いマルフィク 再生星獣軍団
第 13 話	こはくのファーストリポート！（台本のみ完成）	

### ◆用語について

- ・星獣（アストラルビースト）とは。  
 遙か百万光年もの彼方から流れ星という形で、地球へと来訪してきた、謎の怪獣。  
 その生命力は無尽蔵であり倒す事は不可能。  
 ただダメージを与える事でアストラルストーンという石ころのような形態に還元する事が出来る。  
 そうすると事実上、活動は出来なくなる。  
 またアストラルリングを持っていれば、ストーンを使う事でそれぞれの星獣の力を使う事が出来る。
- ・アストラルリングとは。  
 アストラルライツの3人が変身に使うブレスレット。  
 それぞれ赤、青、黄の宝石がついており、星獣に反応して発光する。  
 その時、変身キーワードを叫ぶ事によって変身する事が出来る。  
 また、アストラルダークも黒い宝石のリングを身に付けている。  
 名もなき星々の力の結晶とも言われているが、謎の多いアイテム。

## ◆キャラクター設定集



### ・赤崎めのう

天文学同好会の一人。部活復活に燃える熱血少女。

一応は会長の立場であるが誰もそう呼ばないカリスマの無いリーダー。

ガールズヒーロー・アストラルレッドに変身する。

血液型：A型

長所：熱血

短所：燃費が悪い

好きなもの：食べ放題

苦手なもの：細かい作業

特技：早食い、大食い



### ・アストラルレッド

武器：アストラルナックル

必殺技：アストラルファイヤー

ファイヤーナックル（5話）

アストラルブラスト（7話）

赤崎めのうの変身した姿。格闘戦を得意とする。

その熱血的な性格が功を成したのか割と地味に活躍している。

摩擦熱の原理で放つアストラルファイヤーは一撃必殺。



・青瀬ひすい

天文学同好会の一人。読書が好きな寡黙少女。  
クールに見えるが、実は人一倍仲間思いの女の子。  
ガールズヒーロー・アストラルブルーに変身する。  
血液型：O型  
長所：寝つきがいい  
短所：低血圧  
好きなもの：チョコレート（特にアーモンド入り）  
苦手なもの：機械の操作  
特技：速読



・アストラルブルー

武器：アストラルチェーン

必殺技：アストラルブリザード

ブリザードミラー（3話）、アストラルアイシクル（7話）、

アストラルフリーズ

青瀬ひすいの変身した姿。頭脳戦を得意とする。

空気中の水分を冷却して放つアストラルブリザードは3人の中で一番癖がある技。

平行世界のブルーの必殺技・アストラルアイシクル。

巨大なつららを作り出して相手を刺し貫く、凶悪な技。



・黄桜こはく

天文学同好会の一人。特撮と酢の物を愛する天然少女。

発言が不真面目なのが玉にキズ。

ガールズヒーロー・アストラルイエローに変身する。

血液型：B型

長所：マイペース

短所：酢ダコ臭い

好きなもの：特撮

苦手なもの：辛いもの全般

特技：発明



・アストラルイエロー

武器：アストラルカノン

必殺技：アストラルスパーク

スパークアロー（5話）、エレクトリックデストロイヤー（7話）

黄桜こはくの変身した姿。射撃戦を得意とする。

若干、ヒーローっぽい口調になるのは、本人が環境に影響されやすいため。

静電気の原理で放つアストラルスパークは強力。

平行世界のイエローの必殺技・エレクトリックデストロイヤー。

これは相手を感電死させる事を目的とした殺傷技。



- ・白石えーこ  
生徒会副会長。漢字で書くと『白石英子』。  
多忙な会長の代わりに生徒会の窓口となっている。  
主に事件の第一被害者になる事が多い。  
血液型：A型  
長所：任務に忠実  
短所：融通が利かない  
好きなもの：映画鑑賞  
苦手なもの：酔の物  
特技：暗記

Presents by  
**脳内天國**  
No Image

- ・アストラルダーク  
登場話：第9～12話  
必殺技：星獣全ての力  
アストラルハリケーン  
アストラルストーム  
全ての星獣を影で操る黒幕。  
アストラルライツと似たような風貌をしている。  
アストラルストーンで、星獣全ての能力を使う事が出来る。  
色々と謎が多く、その実態については明かされていない。  
物語の核心を知る数少ない存在。



・月宮ひかり

新任の科学教師。いつも白衣を身に付けている。

こはくが無断で科学室から備品を持ち出すので困っている。

落ち着いた振舞いの、大人を感じさせる女性。

その実像は、謎に包まれている。

Presents by  
**脳内天國**  
No Image

・アストラルライト

武器：アストラルブレード

必殺技：アストラルシャイン

12年前、星獣と戦ったチーム「アストラルライツ」のリーダーで伝説のガールズヒーロー。

その正体は誰か、現在どこに居るのか、全て謎に包まれている。

・赤崎さんご

めのうの姉。

主にボケの方向性が妹そっくり。

・青瀬藍華

ひすいの母親。故人。

アストラルリングを持っていたりと謎の人物。

## ◆星獣設定

基本的に1話に1体のペースで現れる。

どの星獣も一筋縄では倒せない、曲者揃い。



### ・牡羊星獣スリープシープ

登場話：第1話「アストラルアリエス」

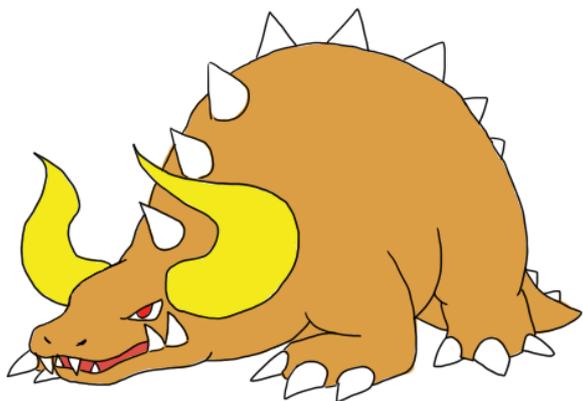
必殺技：アストラルウール

本編中ではひたすら眠っている星獣。

アストラルウールは襲いかかる敵を巻き込んで取り込んでしまう防御技。

ふわふわのもこもこ、柔軟剤は使っていない。

星獣の中でも一番弱い。



### ・牡牛星獣アルデバラン

登場話：第2話「アストラルタウルス」

必殺技：アストラルクラッシュ

別名、猛牛星獣の異名を持つ。

必殺技のアストラルクラッシュはパワー全開の突撃攻撃。

頭のアストラルホーンは避雷針になり、電撃攻撃を軽減する事が出来る。

一度走り出すと何かにぶつかるまで止まらない習性を持っている。

### ・双子星ジェミニシスターズ

登場話：第3話「アストラルジェミニ」

必殺技：アストラルミラー

二人で一人の人型星獣。

アストラルミラーは相手の技を跳ね返す技であるが、

虫眼鏡のレンズの応用で高熱ビーム・ミラーブラストが放てる。

しかし。太陽光線を利用する技なので晴れている日でないと撃てない。

Presents by  
**脳内天國**  
No Image



・蟹星獣アルタルス

登場話：第4話「アストラルキャンサー」

必殺技：アストラルシザース

全身が固い殻でおおわれた非常に硬い星獣。

その殻の強度はアストラルライトの3人の必殺技を防ぐほど。

外殻の唯一の弱点は自らが口から出す何でも溶かす溶解泡。

またアストラルシザースは鉄柱をも砕きつぶす力を持っている。



・獅子星獣レグルス

登場話：第5話「アストラルレオ」

必殺技：アストラルボイス

かつては星獣の王とも言われた獅子星獣。

だが最近では、かなり丸くなったらしい。

特殊な周波数の鳴き声アストラルボイスが必殺技。

窓ガラスなどを粉碎するだけでなく、人間を吹っ飛ばすほどの威力がある。

・乙女星スピカ

登場話：第6話「アストラルヴァルゴ」

必殺技：アストラルレイピア？

人型星獣。伝説の戦士アストラルライトになりすましていた。

星獣の中でも指揮官的存在だが、その力は未知数。

戦いを運命と割り切っているのだが、そんな自分を少し寂しく思っている。

Presents by  
**脳内天國**  
No Image

Presents by  
**脳内天國**  
No Image

・大天秤リブラ

登場話：第7話「アストラルリブラ」

必殺技：アストラルバランサー

塔のようにそびえ立つ、大天秤星獣。

蠍星獣がアストラルメタルという分銅を置く度に運命が変わる。

最終的には運命をすっかりひっくり返してしまう。

だが、大天秤単体では何も出来ない。



・蠍星獣スコルピイ

登場話：第8話「アストラルスコルピイ」

必殺技：アストラルポイズン

とてもそうには見えないが宇宙の哲学者と呼ばれる程知能の高い星獣。

唯一、大天秤を正確に操作する事が出来る。

しっぽにはアストラルポイズンと言われる猛毒を備えている。

その毒は少量でも体内に入ると致命傷になる。



・射手星獣カウス

登場話：第9話「アストラルサジタリウス」

必殺技：アストラルアクセル

宇宙の狙撃者の異名を持つ星獣。

アストラルアクセルで高速移動しているため、捉えるのが難しい。

スピードを生かして四方八方からアストラルアローを飛ばして来る。

唯一の弱点は高速ゆえに移動の軌道が単純な事。



・山羊星獣アルケディ

登場話：第10話「アストラルカプリコーン」

必殺技：アストラルミスト

宇宙の悪魔の異名を持つ星獣。

必殺技アストラルミストを吐き、幻覚を見せる。

ミストの中では数十体にも見えるが実体はひとつだけなのだ。

目的のためならば手段を選ばないので出来れば戦いたくない相手。

Presents by  
**脳内天國**  
No Image

・水瓶星獣アクエリウス

登場話：第11話「アストラルアクエリウス」

必殺技：アストラルケージ

宙に浮かぶ、大きな水瓶星獣。

必殺技のアストラルケージで何でも吸い込んで閉じ込めてしまう。

膨大な水を放出する事も出来、その内部は異空間とも言われている。

その強度は蟹星獣に匹敵する程である。

Presents by  
**脳内天國**  
No Image

・魚星獣ピスケス

登場話：第12話「アストラルレジェンド」

必殺技：アストラルグラビティ

常に空中に浮かんでいる、空飛ぶ魚。

重力を操るアストラルグラビティの力によるもの。

力を応用して隕石を降らせて攻撃してくる。

間違いなく最強候補の一体。

Presents by  
**脳内天國**  
No Image

・蛇使いマルフィク（アストラルオフィウクス）

登場話：第13話「アストラルヒーローズ対星獣軍団！」

必殺技：アストラルジョーカー

幻の黄道十二星獣の十三体目。

全てのアストラルストーンの力を無効にする、アストラルジョーカーの力を持つ。

使い方次第では最強であるが、ストーンの力に頼らなきゃいけないだけ。

## ◆アストラルイマージュ！という企画について

せっかくなのでアストラルイマージュ！が出来るまでを振り返ってみたい。

この企画の最古の記録は、2007年2月7日のイメージラフテキストである。

『星のイメージ（仮）』というタイトルと共に、メインキャラ三人の簡単な設定のみの走り書きがある。

この時点で「メイン」「天然系」「寡黙系」と役割分担されていた。

次の記録は2008年10月4日のイメージラフテキスト。

ボイスドラマという媒体で作る事が決定し、タイトルも『きらきら星伝説（仮）』になった。

この時点でのストーリーはこんな感じ。

>夜空に輝く無数の星。

>その輝きはずっと遠い宇宙の惑星の光だという事は子供でも知っている。

>しかし。

>それらに混じって不思議なものが輝いている事は意外と知られていないのだ……。

>これは、偶然にもそれに気付いた少女達の物語。

この時点ではバトルものではなく、「ちょっといい話」のボイスドラマになる予定だった。

そして2010年12月28日。タイトルが『百万光年伝説アストラル・イマージュ！』となる。

「空想特撮風バトルガールボイスドラマ」という肩書がつき、今にかなり近い内容となった。

ストーリーはこんな感じ。

>浅門学園天文学同好会。

>先輩達の卒業と共にメンバーの不足を理由に

>部活から同好会に格下げされた天文学同好会は、

>夜な夜な屋上へ天体望遠鏡を担いでいく怪しげな三人組。

>ある夜、漆黒の流れ星が中空ではじけ飛ぶのを目撃する。

>それからである。街に異常が起こったのは。

>学園の都市伝説にある戦士・アストラルライトとは一体。

>浅門の街は一体どうなってしまうのであろうか。

この時点での計画書では、めのうは時々下町言葉が混じる江戸っ子気質だったり、ひすいは星に関して博学で足払いが得意だったり、こはくがアストラル酢ダコさんバズーカなる武器を開発したり、アストラルスーツは変身じゃなくてただのコスプレ強化服で、武器もめちゃくちゃ科学兵器だったりする。

都市伝説のヒーローにあこがれたこはくがヒーローごっこをするために次々と開発する兵器の設定が色々細かくなされており、アストラルカノンが超強力な酢を噴霧するスプレーガンだったり（実は酢ダコはその名残）、5話の停電オチの原因は超高压電撃バリア・アストラルウォール発動のための盗電でブレーカーが落ちる感じだったり、ガチの命のやり取りで追い詰められたこはくが純粋な殺傷兵器として作ったアストラルビーマーなる武器があったり、最終決戦で使われる予定のアストラルウォールの改良版・単三電池10ダース分の電力が必要なアストラルシールドなる兵器があったりする。

それから右往左往あり、アストラルリングや変身のカタルシス等神秘的な要素が取り入れられ、2011年7月頃、現在の台本が完成する。

そして2013年頃より録音開始。右往左往ありつつ、今に至ると。大体こんな感じだったと思うんです。

## ◆作品解説、のようなもの

### ・第1話『アストラルアリエス』について

すべての始まり、起承転結の起。前作のななこと差別化を図った。基本1話完結から大河っぽい続き物へ。レギュラーキャラ少なめゲストキャラ多めからレギュラーキャラ多めゲストキャラ少なめへ。よりボイスドラマとして作りやすいような形を意識した。あと続き物っぽくラストシーンの引きを大事にした。ヒーローに憧れる黄色い子がまず変身できるようになった。

### ・第2話『アストラルタウルス』について

「ガールズ」ヒーロー物なので女の子達がわちゃわちゃする感じが書きたかった。三人娘のやりとりはそんな感じ出てますか？熱血の赤い子がリングを手に入れる。どっちかというこの子は少年漫画のノリ。

### ・第3話『アストラルジェミニ』について

青い子変身の話。ジェミニが殊の外可愛くなった。先生とか青い子の母親とか、伏線がちよいちょい。

### ・第4話『アストラルキャンサー』について

お泊り会とか、ガールズっぽいでしょ(偏見)。学生時代にお泊り会とか経験ある人はリア充。俺？灰色の青春を送ってた俺にそんな事聞くなよ……。各々の入部のきっかけとか、あと関係プレイ。

### ・第5話『アストラルレオ』について

アストラルイマージュは三人娘の話ではあるものの、実はこのシリーズの真の主役は黄色い子こはくである。ヒーローに憧れるだけだったこの子が、挫折や衝突を繰り返して本当のヒーローになる、というのがシリーズの縦軸である。この話は学園青春物かくあるべき、みたいな話。先生がオチまで良い味を出している。お気に入り。

### ・第6話『アストラルヴァルゴ』について

基本喋らない星獣軍団の中で、人型星獣の話は割と重要で、物語を締める役割を果たしている。乙女星スピカ。人型星獣は音羽さんに声をお願いしたのだがこれがいい味出してんだよねえ。あと脳内天國作品って誕生会イベントが平凡に行われる事は皆無。作者は誕生日に何かあったのかって？……誕生日を夜勤で迎えた俺の気持ち分かるかこんちくしょう！ちなみに夜勤で年を越す事もザラにあったぞ！

ちなみにこはくの弟・黄桜晶(きざくらあきら)は実は蛇使い座の話に登場予定だった。しかし話自体がお蔵入りになったので名前だけの登場に終わった。めのうの姉・さんご、ひすいの母・愛華とそれぞれ家族の登場があったのだが、結果的にこはくの家族だけが未登場となってしまった。

### ・第7話『アストラルリブラ』について

パラレルワールドの話。性格反転したキャラにキャストさん達の演技が光る、ボイスドラマを意識したシナリオ。聴くのが楽しかった話。イラスト担当が天秤星獣に難色を示したので例の塔を再登場させた。

### ・第8話『アストラルスコルピイ』について

副委員長が頑張る話。この辺りになって「あれ、副会長じゃなかったっけ……？副委員長って何の委員会だよ」とようやく気付く。生徒会の副会長と風紀委員会の副委員長を兼任してるんでしょ。本当に適当な設定だ。副委員長がメインを張っているの青い子は今回はお休み。

### ・第9話『アストラルサジタリウス』について

ここから最終決戦編に突入する。前回、目立ち過ぎた副委員長が開始早々とんでもない事に。まあ皆さん予想してたと思うけど。そしてとうとう明かされる先代ヒーロー・アストラルライトの正体。ラストに向かってストーリーが盛り上がります。

### ・第10話『アストラルカプリコーン』について

唐突に出てきた守護星。あれだ、ウルトラの星みたいなものです。君にも、君だけの星が見えるよ的な。この

辺りはシリーズ全体を包み込む世界観というか。シリーズ化したらもうちょっと説明ついたらと思うんですが。まずは青い子の覚醒。

・第11話『アストラルアクエリウス』について

赤い子の覚醒の話。明かされるアストラルダークの正体。バレバレですけど。

・第12話『アストラルピスケス』について

こはく編の最終話。おさまる所におさまるという話。

・『赤崎めのう』について

少年漫画の主人公を素でいく子。初期はもっとガサツだったのだけど何かマイルドに可愛くなった。『ガールズ』ヒーローものなのでそれで結果オーライかと。シナリオ的には安定した活躍を見せてくれたかと。

・『青瀬ひすい』について

陰のある寡黙娘。母は故人、父は青瀬財閥のトップ、多分代表取締役社長とかやっけて忙しいんでしょう。めのうが陽性、ひすいが陰性と正反対の要素。足して二で割ればちょうどいいんでしょう。ちなみにまじかるななこのエフェクターブルー・青瀬清一は従兄弟にあたり、青瀬財閥の技術を持って勘当同然で出ていったというどーでもいい裏設定がある。

・『黄桜こはく』について

ヒーローに憧れる子。ギャグ担当と思わせつつ、本作の真の主演。本編はこはくちゃんの成長物語なのだ。弟思いの姉な一面もあったのだが、本編ではカットされてるため、ぼんこつな面ばかり目立つ結果となった。

・『白石えーこ』について

サブキャラその1。第一被害者及びツンデレ模範例。学生さんの名前は大体鉱石からとっているのだけれど、彼女は石英。あと苗字に色を入れている。アストラルダークの時との二面性のギャップを楽しむべし。

・『月宮先生』について

サブキャラその2。本作で一番のお気に入り。先代ヒーローとか格好いい！変身しなくとも星獣倒したりとかめちゃうくちゃ強い！流石にこの年で学生に混じってガールズヒーローのコスチュームというのもきついが。

以下、幻の企画色々。

・アストラルヒーローズ対星獣軍団

幻の13話目その1。空想特撮風時代にあった「アストラルサーカス」というシナリオが原型。当初はこはくの弟・晶が蛇使い座の人型星獣と出会って親交を深めたりした後、三人娘が星獣を成敗して黄桜姉弟の関係が気まづくなるという話だった。が、神秘的要素を取り入れた際に本エピソードの後味の悪さが際立ったため、テコ入れ、本編の後日談的なエピソードに手直しをした。蛇使い星獣がアストラルストーンを使って星獣軍団を再生。アストラル三人娘が迎え撃つ！みたいなデパートの屋上でやるヒーローショー的なシナリオになる予定だった。しかし蛇使い星獣が後述のトレミー編の兼ね合いで使えなくなったため、お蔵入りに。

・こはくのファーストリポート！

幻の13話目その2。蛇使い編お蔵入りに伴い、代わりに作られた話。台本のみ書かれたのだが、本編の制作が難航しているうちに結局録音する事なくお蔵入りに。内容としては三人娘が初めて出会った時の話。

・続編『百万光年伝説アストラルイマージュ2！ - The Ptolemy - 』

通称トレミー編。企画書よりストーリーを抜粋する。

>前作から一ヶ月後。

>平和を謳歌していた天文学部の面々であるが。ある日、二つの流星が激しく争う光景を目撃する。

>それは壮大な星間戦争の幕開けであった……！お馴染みアストラルライツは浅門を守れるのであろうか！？

以下、コンセプトを抜粋する。

- >ヒーローとは正義である。だが実際は、この世界に絶対の正義など存在するのであろうか。
  - >今回は北トレミーと南トレミー、星獣を操る勢力が二つ登場する。
  - >アストラルライツはどちらに味方すれば良いのか？北？南？中立？それとも両方敵？
  - >どちらが正義でどちらが悪なのか。それを巡ってお馴染みの三人が初めて対立。勧善懲悪の崩壊の瞬間である。
  - >誰が何が悪いのか、はっきりしない現代社会。倒すべき悪とは何か、正義とは一体何なのか。
  - >何を戦うべきなのか、苦悩しながらも三人は真実を模索してゆく。
  - >正義の味方、ガールズヒーローも楽じゃないのだ。
  - >絶対の正義なんてあるのか。絶対の悪なんてあるのか。戦う三人と一緒に考えてみて欲しい。
- 英雄ヘラクレスや勇者ペルセウスを擁したノーストレミー、対して王者オリオン率いるサウストレミー。両勢力の星間戦争に巻き込まれるという話。赤い子こと赤崎めのうが主役になる予定であった。

以下、各話タイトル。本編制作難航につき企画自体お蔵入りに。実際に台本が出来ていたのは1話のみである。

- >第1話「英雄ヘラクレス」
- >第2話「蛇使いマルフィク」
- >第3話「王者オリオン」
- >第4話「白鳥対黒鳥」
- >第5話「親子熊対親子犬」
- >第6話「エリダヌス川にて」
- >第7話「勇者ペルセウス」
- >第8話「復活のアストラルダーク」
- >第9話「四人目のガールズヒーロー」
- >第10話「星獣大戦争・前編」
- >第11話「星獣大戦争・後編」
- >第12話「巨大星船アルゴ号」
- >第13話「南北トレミー統一」

・続々編『百万光年伝説アストラルイマージュ3！ - The Final - 』

通称人工星獣編。黄、赤と来たら！という事で、青い子こと青瀬ひすいが主役になる予定だった。トレミー編がそもそも作られなかったのが企画書も作られなかったが、青瀬財閥が経営破綻で買収されて、ひすいが公園で段ボール生活をするという出だしだった気がする。青瀬財閥を買収した企業が実は人工星獣を作っていて……、星獣をうち倒し、父の会社を救う事が出来るのか！？とまあこんな感じだったかと。

この話で三人娘のエピソードは完結する予定だった。

・第二部『百万光年伝説アストラルイマージュNEO！』

キャストを一新、本編より十二年後の世界の話。守護星やアストラルダーク等、根本の謎の補完のための続編。

以下、企画書よりストーリーを抜粋する。

- >浅門学園天文学同好会の3人は、ある夜漆黒の流れ星を目撃する。
- >それから間もなく星獣という謎の怪獣が学園に現れるようになった。
- >アストラルサーガに終止符を打つ最終決戦が今、始まる。

話の導入自体は前作の焼き直しである。しかし1話目で同好会の一人・黒木まことが漆黒の流星に打たれて死亡、完全にアストラルダークに乗っ取られてしまうという。同好会の一人・緑川りかは天文学同好会に保管してあったアストラルリング（こはくが返却した物）を使い、アストラルラピスに変身して対抗する。

しかし同好会の最後の一人・紫芝しょーこはアストラルライト伝説に憧れるもののリングがなく変身出来ない。そこにアストラルストーンを二つ同時に扱える謎のガールズヒーロー・アストラルネオが登場する。実はアストラルネオの正体こそが保健室登校をする病弱少女・月宮あかり。実は月宮ひかり先生の一人娘。更にそこに保健医・藍川ひすい（旧姓：青瀬）が先代ヒーロー・アストラルジェイドとして関わってくる。激戦に次ぐ激戦、運命は加速し、絶望的な状況に陥ったその時。

アストラルダークと対をなす、物語の核心に迫る存在・アストラルセイントが姿を現す……！

・第三部『百万光年伝説アストラルライツ！』

謎の三部構成。月宮先生の学生時代の過去編とかやりたいよねとかいう話だった気がする。本編の十二年前の話。学生時代の月宮先生こと星野ひかりや、ひすいの母・青瀬愛華、後の先生の旦那・月宮君が登場する予定だった。

……とまあ、色々企画してたんですけど、全て幻に終わりました。

この場で発表した事で少しは企画供養になったでしょうか。

## ◆キャスト・スタッフ（敬称略）

### ・キャスト

赤崎めのう・赤崎さんご	紅茶好きの人
黄桜こはく	七味
青瀬ひすい・青瀬愛華	いたち
白石えーこ・アストラルダーク	伊露葉
月宮先生	天音水希
ジェミニ姉妹・乙女星スピカ	音羽咲夜

### ・スタッフ

製作	脳内天國
脚本	琉球ももんが
イラスト	紅月せな

## ◆あとがき。

はい。作者の琉球ももんがです。ななこと違って需要あるのかどーか分かりませんが、平成もそろそろ終わるのでとりあえず企画の総括という意味で設定資料をまとめてみました。

ちなみにアストラル三人娘はフリーの対戦ゲーム『BlackJack-脳内流-』にも登場しています。

まじかるななこも登場するので作品の壁を越えた共演を見たい人は是非……！

作品に関わった全ての方々に感謝！です。ありがとうございました！

あと、最後に。本作、タイトル長すぎ……っていう声があったんですけど。

作者は製作中「とらいま」という微妙な略称を使っていました。いいように略して下さい、はい。